

いばらきネットモニター
**コロナ禍における自転車利用への意識と「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を核にした
E - B I K E を含めたサイクルツーリズム推進に係るアンケート**

1 調査目的

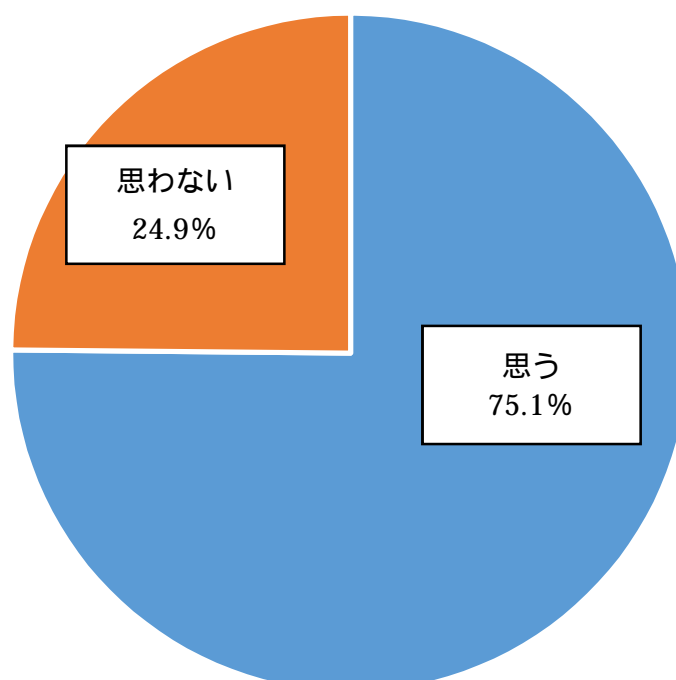
コロナ禍における自転車利用に対する意識調査やE - B I K E のニーズを把握するほか、ナショナルサイクルルートに指定されるなど注目度の高い「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の改善点や魅力向上につながる対応策を把握し、今後のサイクルツーリズム推進に向けた施策展開の参考とするために実施しました。

2 結果の概要

- ・ コロナ禍において、「実際に自転車を活用する機会が増えた」は15%となり、うち使用場面の約半数が「健康づくり」や「レジャー・娯楽」であることから、「新しい生活様式」のなか、サイクルツーリズムのニーズが高まっていることがわかる。
- ・ E - B I K E に「乗ってみたい」は51%と半数以上のニーズがあり、特に「つくば霞ヶ浦りんりんロードの走破」「県内観光地巡り」が高いことから、本県のサイクルツーリズムにおけるE - B I K E の期待値の高さがうかがえる。
- ・ 「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の改善点は、「道路環境の整備」「飲食、休憩ができる拠点等の整備」「サイクリストへのおもてなし・サービス」といった意見が多く、また、魅力向上につながる対応策としては「プロモーション・イベント開催」「飲食、休憩等ができる拠点の整備」「サイクリストへのおもてなし・サービス」といった意見が多かった。

【問1】(新しい生活様式における自転車の位置づけ1)

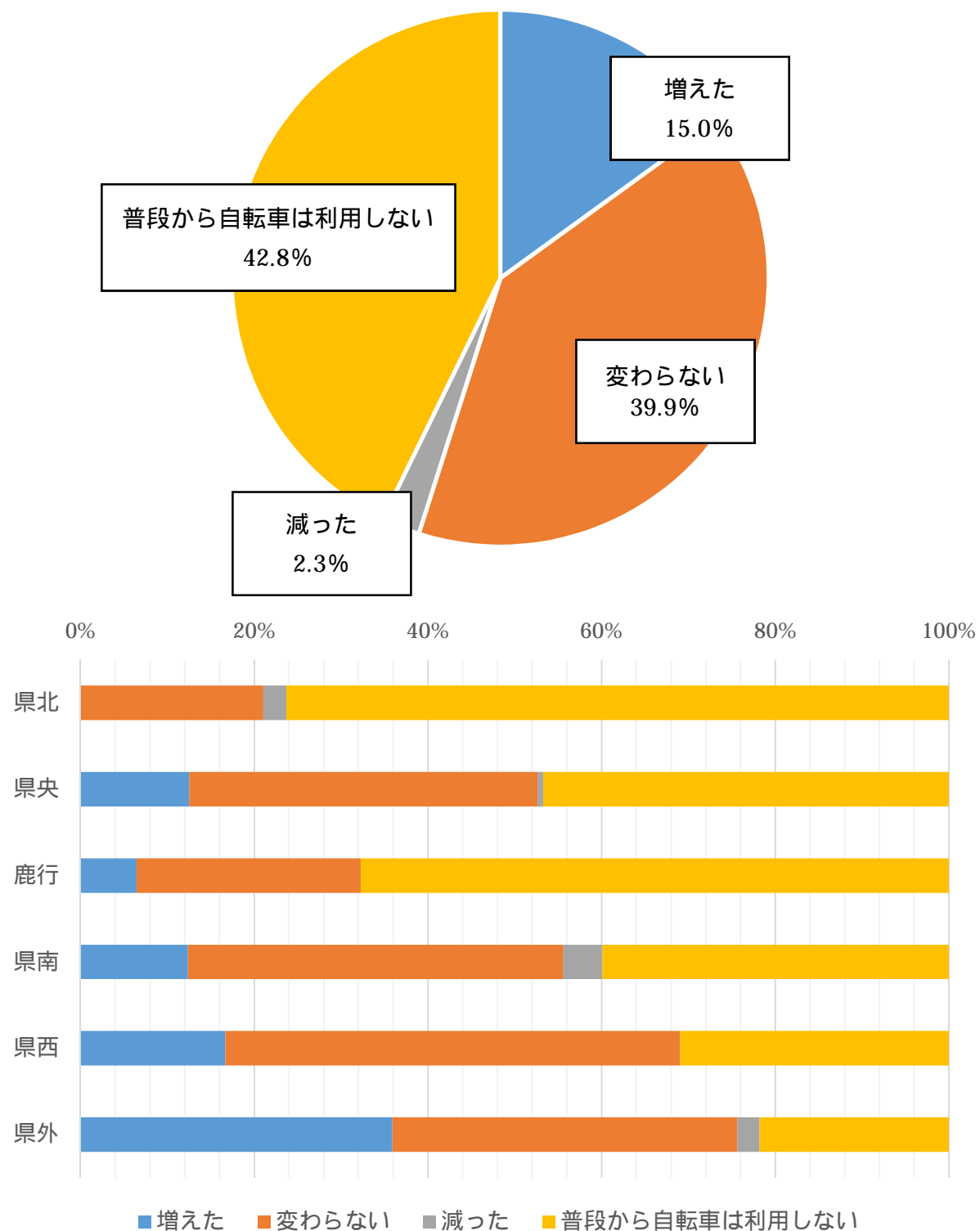
新型コロナウイルス感染症へ対応する「新しい生活様式」の実践に自転車は役立つものと思いますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。(n=519)



全体の75%の方が、新型コロナウイルス感染症へ対応する「新しい生活様式」の実践に自転車は役立つと考えている。

【問2】(新しい生活様式における自転車の位置づけ2)

「新しい生活様式」の実践に伴い、実際の生活で自転車を活用する機会は増えましたか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。(n=519)



「新しい生活様式」の実践に伴い、実際の生活で自転車を活用する機会が「増えた」と回答した方は、15%であった。

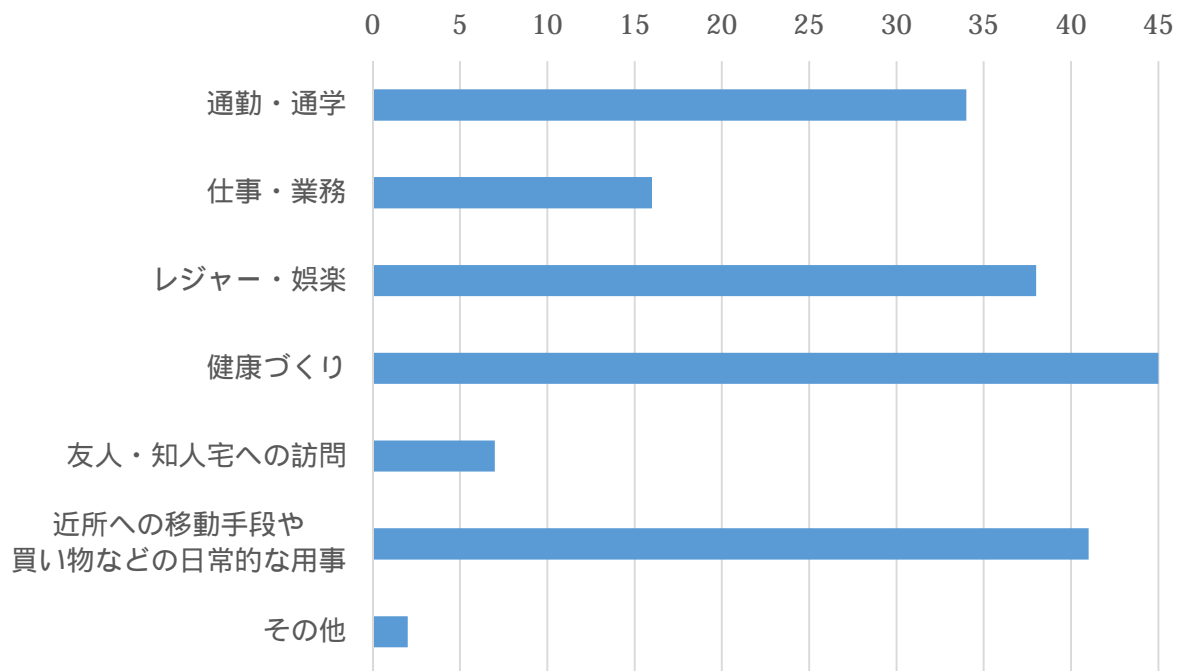
地域別にみると、特に県外居住者において、「増えた」と回答した方が36%と高いほか、県北居住者においては0%と、地域性が回答に影響している。

【問3】(新しい生活様式における自転車の位置づけ3)

(問2で「増えた」と回答された方にお伺います)

具体的にどのような場面で増えましたか。次の中からあてはまるものを全て選んでください。

(n=78)

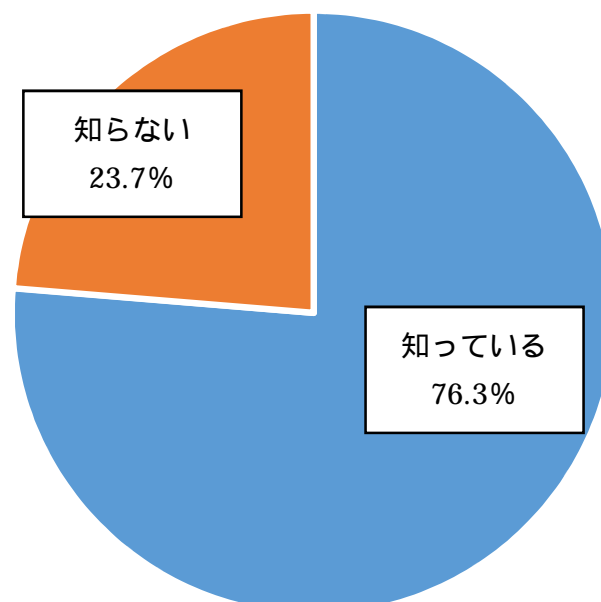


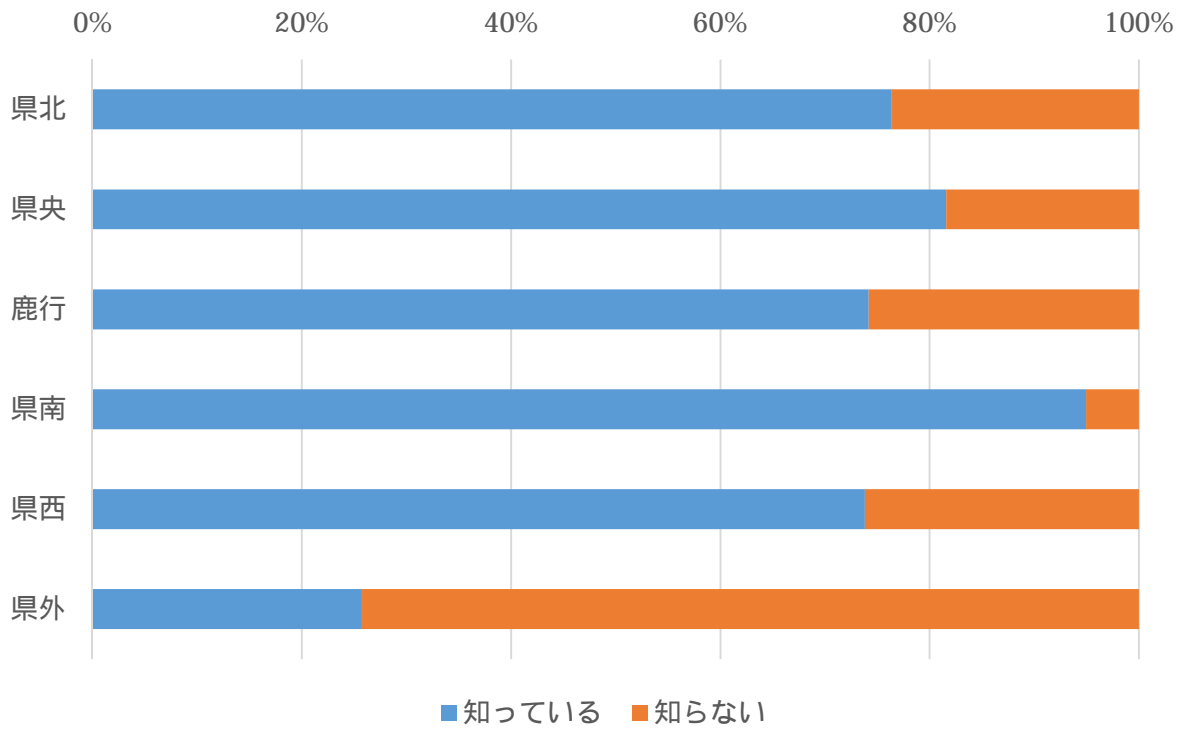
使用場面の約半数(全体の45%)は、「健康づくり」「レジャー・娯楽」で占められている。

【問4】(つくば霞ヶ浦りんりんロードの認知度)

あなたは、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を知っていますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

(n=519)



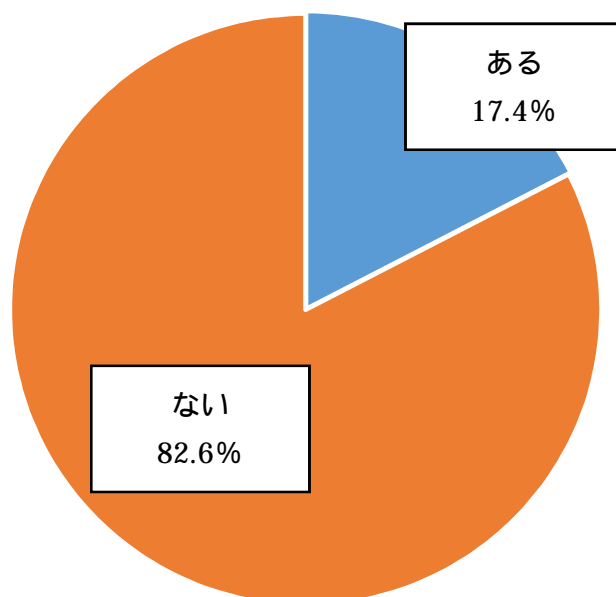


つくば霞ヶ浦りんりんロードの認知度は、全体で 76%。平成 30 年 6 月に実施した同アンケートでは 67%であったことから、認知度がアップした結果となった。一方、県外居住者の認知度は、26%と低い現状である。

【問 5】(つくば霞ヶ浦りんりんロードの走行経験)

(問 4 で「知っている」と回答された方にお伺います)

あなたは、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を走行したことがありますか。次の中から当てはまるものを 1つ 選んでください。 (n=396)

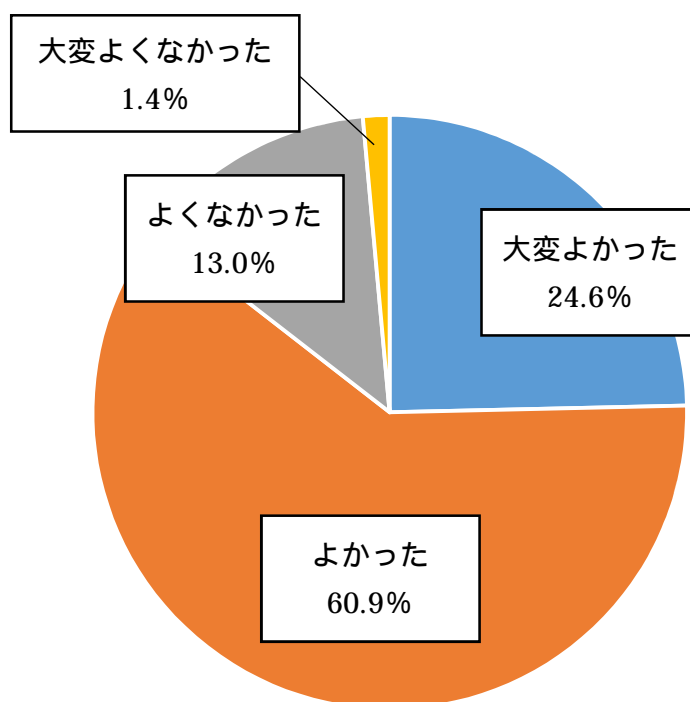


つくば霞ヶ浦りんりんロードの走行経験は、全体で 17%。平成 30 年 6 月に実施した同アンケートでは 16%であったことから、走行経験の割合は 2 年間で大きく変化しなかった。

【問 6】(つくば霞ヶ浦りんりんロードに対する走行感想 1)

(問 5 で「ある」と回答された方にお伺います)

「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を走行してみて、どのような感想をお持ちになりましたか。次の中から当てはまるものを 1 つ選んでください。(n=69)



つくば霞ヶ浦りんりんロードを走行した感想の約 86%が【よかった】(「大変よかった」「よかった」の合計)という結果であった。

【問 7】(つくば霞ヶ浦りんりんロードに対する走行感想 2)

(問 5 で「ある」と回答された方にお伺います)

「つくば霞ヶ浦りんりんロード」を走行してみて、お気づきの点や改善してほしい点など、サイクリストの視点から自由にご意見を記入してください(最大 2000 字)。(n=69)

道路環境の整備に関すること 49件	飲食、休憩ができる拠点等の整備 36件
<ul style="list-style-type: none"> ・車道との交差点の整備について ・舗装の改修について ・ルート、観光地等の案内について ・自転車道の整備(幅・橋等) 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・トイレ、休憩所が少ない ・拠点施設(カフェ、娯楽施設)が少ない 等
サイクリストへのサービス・おもてなし 32件	レンタサイクルの充実 5件
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者マナーの向上 ・巡回バス、サイクルトレイン ・美化活動(花) ・施設でのおもてなし 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクルの数、種類を増やす

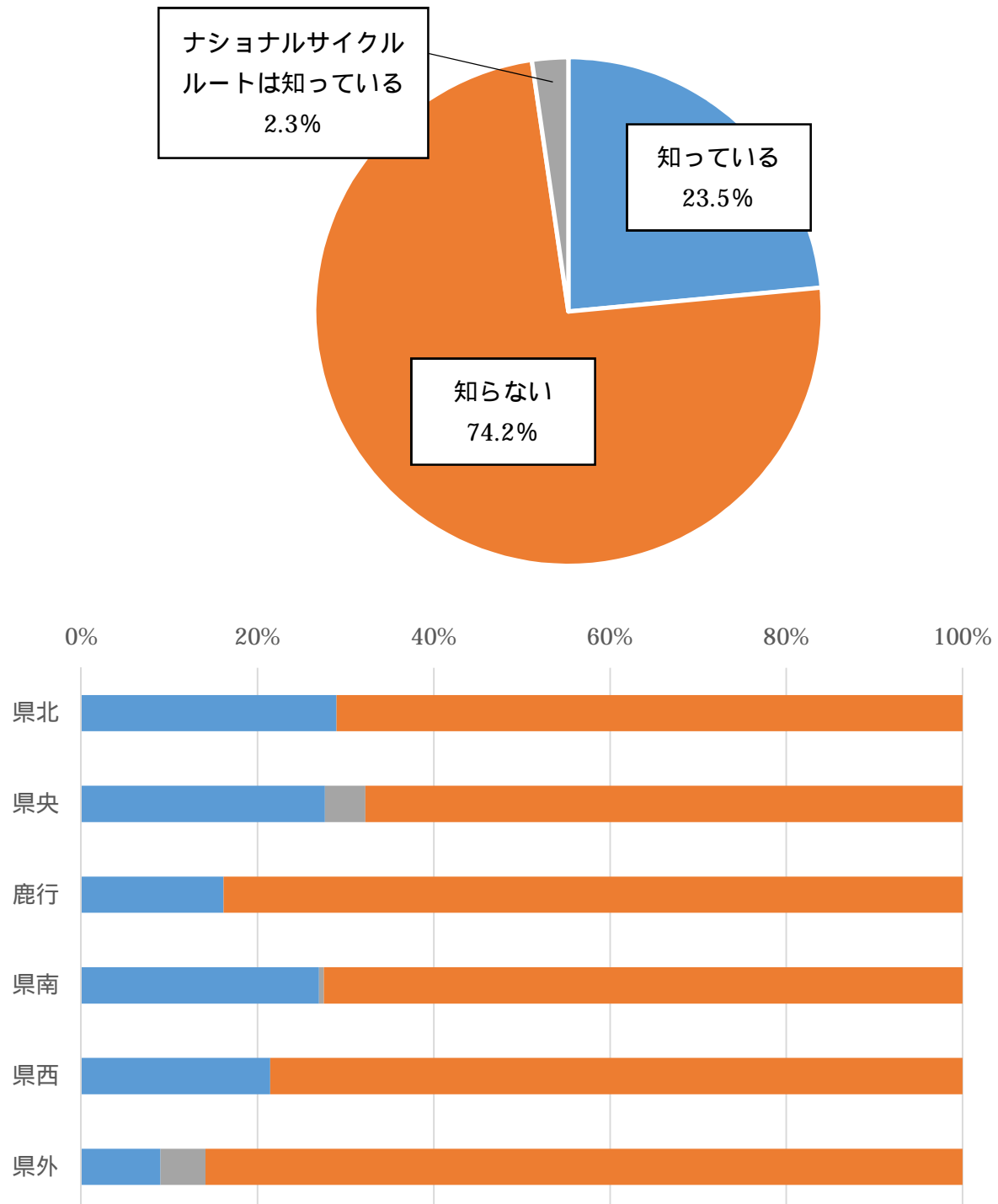
理由件数は延べ数

【問8】(ナショナルサイクルルートとしての認知度)

あなたは、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」が2019年11月に、ナショナルサイクルルート(1)の1つに指定されたことを知っていますか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

(1) ナショナルサイクルルートとは？

- ・日本を代表し、世界に誇りうるサイクリングルートを国内外へPRを図るため、一定の水準を満たすルートを対象として国が指定したものです。
 - ・第一弾の指定ルートとして、琵琶湖を一周する「ビワイチ」、広島県と愛媛県を結ぶ「しまなみ海道サイクリングルート」と並び、「つくば霞ヶ浦りんりんロード」が、ナショナルサイクルルートに選ばれました。
- (n=519)



ナショナルサイクルルートとしての認知度は、全体で約25%。

地域別にみると、特に県外居住者において、認知度が9%と低い現状である。

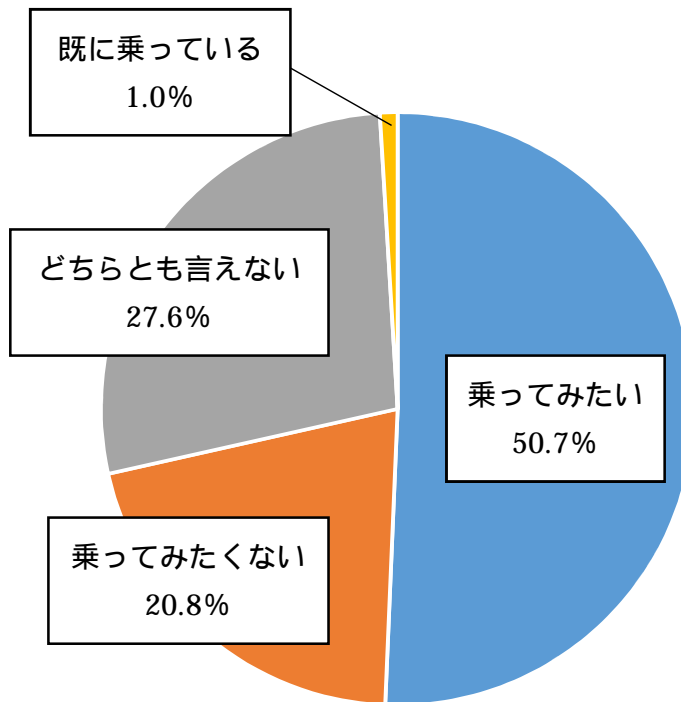
【問9】(E - B I K Eに対するニーズ)

近年、E - B I K E (2) が注目されていますが、E - B I K Eに乗ってみたいですか。次の中から当てはまるものを1つ選んでください。

(2) E - B I K Eとは？

- ・スポーツタイプ(ロードバイク、クロスバイク)の電動アシスト自転車。
- ・欧州を中心に人気を博しており、2018年から日本でも本格的に販売中。軽量化が図られフル充電で100km以上のアシストが可能など、新たな旅行手段として注目を浴びている。

(n=519)



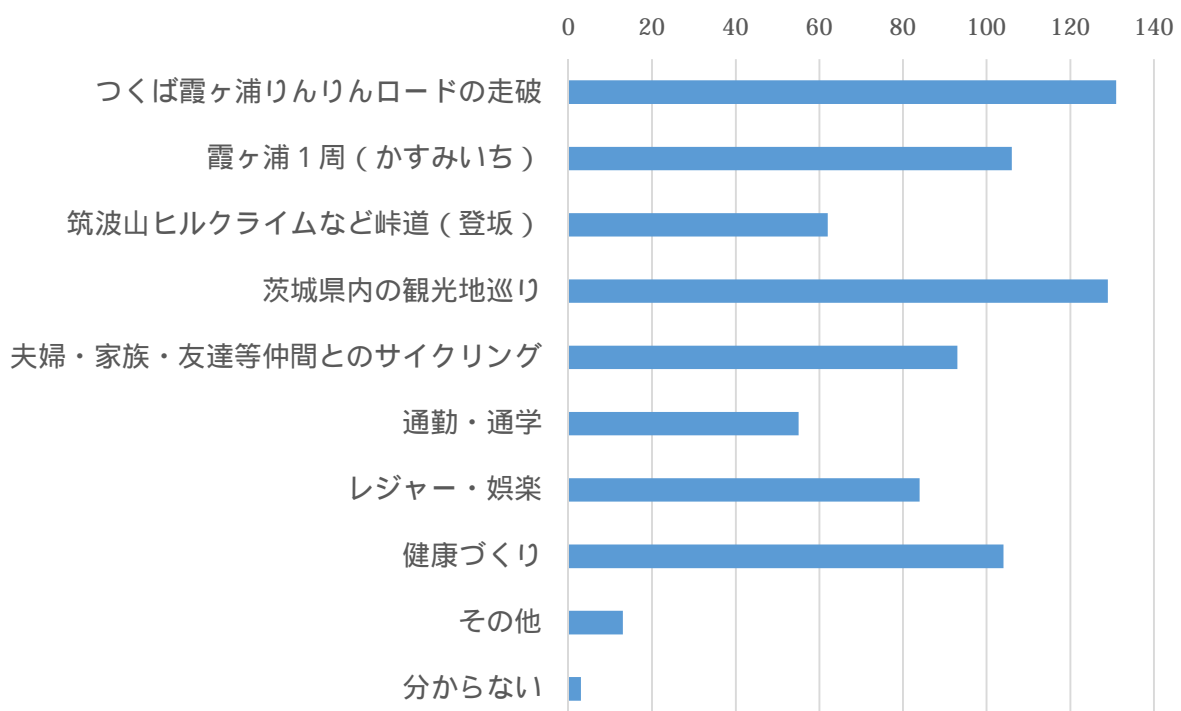
約半数以上の方が、E - B I K Eに乗ってみたいと回答。

【問10】

(問9で「乗ってみたい」、「既に乗っている」と回答された方にお伺います)

茨城県でE - B I K Eを使って行いたいアクティビティなどは何ですか。次の中から当てはまるものを全て選んでください。

(n=268)



E - B I K Eを使って行きたいアクティビティとしては、「つくば霞ヶ浦りんりんロードの走破」が一番多く（131件）、次いで、「茨城県内の観光地巡り」が多かった（129件）

【問11】（つくば霞ヶ浦りんりんロードの魅力）

「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の魅力向上のために、どのような取組みを行えばより効果的だと思いますか。自由にご意見を記入してください（最大2000字）（n=361）

プロモーション・イベント開催 220件	飲食、休憩ができる拠点等の整備 113件
<ul style="list-style-type: none"> ・様々な媒体、対象に対するPR、情報発信 ・レース、大会、（試乗等）イベント ・周遊イベント（スタンプラリー等） ・ツアー造成 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・拠点施設（カフェ、娯楽施設）づくり ・トイレ、休憩所の充実 ・宿泊、グランピング施設の整備 ・駐車場の整備 等
サイクリストへのサービス・おもてなし 65件	道路環境の整備 58件
<ul style="list-style-type: none"> ・利用者マナーの向上 ・巡回バス、サイクルトレイン ・美化活動（花） ・施設でのおもなし 等 	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の補修、整備 ・フォトスポットの整備 ・ルート、観光地等の案内看板設置
レンタサイクルの充実 35件	
<ul style="list-style-type: none"> ・レンタサイクルの数、種類を増やす ・レンタサイクルの割引等サービス 	

理由件数は延べ数

問7、11の（理由別の延べ数）について

当該項目の数値は、各回答者の理由を一般化して集計した。また、1つの回答で2つ以上の理由が述べられている場合は、それぞれを「1件」として計上した。

3 調査の概要

(1) 調査形態

調査時期：令和2年12月1日(火)～12月14日(月)

調査方法：インターネット(アンケート専用フォームへの入力)による回答

モニター数：786名(県内外在住者)

回収率：66.0%(519名)

回答者の属性：以下の通り。ただし、百分率表示は、小数点以下第二位を四捨五入しているため、個々の比率の合計は100%にならない場合がある。

		人数(人)	比率(%)
全体(n)		519	100.0
地域別	県北	38	7.3
	県央	152	29.3
	鹿行	31	6.0
	県南	178	34.3
	県西	42	8.1
	県外	78	15.0
性別	男性	240	46.2
	女性	279	53.8
性・年齢別	16～19歳	6	1.2
	20～29歳	35	6.7
	30～39歳	97	18.7
	40～49歳	137	26.4
	50～59歳	121	23.3
	60～69歳	67	12.9
	70歳以上	56	10.8
職業別	自営業	44	8.5
	会社員	190	36.6
	団体職員	19	3.7
	公務員	19	3.7
	主婦・主夫	121	23.3
	学生	14	2.7
	無職	65	12.5
	その他	47	9.1

(2) 担当課

茨城県県民生活環境部スポーツ推進課(サイクリンググループ)

電話：029-301-2735

E-mail：chikei4@pref.ibaraki.lg.jp